

福岡県篠栗町

ませぐり

議会だより
No. 202

表紙写真 赤い羽根ふれあい食堂



令和元年12月議会号

地域のつながりで健康づくり

(意見交換会 オアシス歩こう会) 2

12月定例会 4

ここをどうする!?(5人が一般質問) 10

特集 意見交換会

地域のつながりで 健康づくり

第15回 オアシス歩こう会

今回は「オアシス歩こう会」の皆さんです。

介護予防事業として始まったシニアいきいきセミナーの卒業生が会員となり、地域のつながりを通じた自主的な活動を継続しています。1期生から7期生までのそれぞれの活動を中心となって支えている各リーダーの中から5名の皆さんに出席していただきました。

始めたきっかけは？

- 広報ささぐりを見て、健康増進・維持のために参加しました。
- 健康に過ごすために歩く習慣を身につけたかったからです。
- 個人では目標があまりいまいで限界があるので、集団行動で無理なく歩けて長続きできそうだと感じました。

主な活動内容は？

- 脱落者が出ないように、町内を中心にゆっくり歩いていきます。バラを見に行ったり、たまには市内へ行くこともあります。

- 行き先は26か所を決めており、季節によって選定しています。弁当持参で集まって、歩いた後にオアシスで食べながらお話ししたりして過ごします。

- 会員で相談しながら3か月ごとに歩くコースの計画を決定しています。

課題や問題は？

- 人によって歩調が違うので、その調整が難しいですね。速い人と遅い人でどうしてもグループが分かれてしましますが、コミュニケーションも大切なので、声かけをして歩調を合わせるようにしています。人生と同様に、女性に歩調を合わせるべきだと男性同士で話しています。(笑)

- 認知症の症状のある方など見守りながら歩いているが、今後、自分たちでは対応が心配な方をどうしていけばいいのかが気になっています。

- (福祉課) 介護認定などの手立てもあるので、気になった方がいる場合は、包括支援センターへご相談ください。

- 高齢化で会員が減少しているのが今後の課題です。7期生が最後になっただけ、新規募集がないため、新しい方は既存のグループに入る形になっています。

- 卒業年度ごとのグループでそれぞれが活動しているので、グループ同士の横のつながりがあまりないんです。代表者の交代や新規加入者が増えないなど、今後消滅していく危険があります。

今後の取り組みは？

- 年齢の偏りをなくすることや新しい出会いづくりのためにグループ替えなども必要ではと感じています。

- 男性の会員が続かない傾向にある

- 一人暮らしの高齢者が増えていく中で、気軽にお話しにできる感じが続く秘訣ではと思います。

- マンネリ化を防ぐために、新コースの選定を会員の皆さんと実施したいです。

活動を通じて伝えたいことは？

- みんなでワイワイ言いながら歩くのは、健康にもいいし、気分転換にもなり楽しいことです。

- 老後を豊かで元気に過ごすために、体を動かすことを習慣づけることが大切。健康を維持して最後まで人生生活を送ることは本人次第だと思います。



もっと魅力的な町にするには？

● 荒地や休耕田に、四季折々の花があるといいですね。

● 「篠栗八景」を選定し、宣伝してほしいでしょうか。

町や議会に望むことは？

● 町にはたくさん水路があります
が、時期によって水が流れていない
ことがあります。川のせせらぎは、
歩いていて心地がよく、ホタルの餌
も育つでしょうし、いつも流れてい
ると嬉しいです。

● サイクリングロードがあるとい
うなと思います。

● 昔は荒田地区や萩尾地区の子ども
たちは、走って登下校しながら鍛え
られるため、マラソンが強かったし、
足も速かった。傾斜が多いという町
の特徴を活かせる健康への取り組み
があっても良いのでは。

● 雨の日でも集まることがありま
す。そういう時のために高齢者が集
える場所があると有難いです。

● 入会したい人が入りやすくなる
よう募集などサポートしてほしいで
す。議員の皆さんも「歩こう会」に
参加してほしい。

● 5回歩くとトレーニングルーム利
用券がもらえるのですが、いつも混

んでいて利用できないので、お風呂
も利用できるようにしてほしい。

「オアシス歩こう会」の活動は、高
齢者の健康増進だけでなく、地域コ
ミュニティからの孤立予防にも大
きく貢献しています。また自主的な
運営を促すことが、この事業の目
的であり、柔軟な支援が必要です。
町は、「第6次総合計画」で、生涯ス
ポーツの振興を掲げています。

ウォーキングは「健康・環境・教
育・観光・交流」などに多様に役立つ
と言われており、町の特性を活かし
た「歩く仕掛けづくり」を推進して
いくべきだと感じました。

12月定例会

条例

12月5日から13日まで9日間の会期で開催しました。

総務建設・文教厚生両常任委員会、予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算など計14議案、そのほか請願3件を審査しました。また、意見書案3件を提出し、最終日の本会議にて、全ての議案について原案のとおり可決・同意しました。各議案に対する賛否一覧をページに掲載しています。

基金を設置

篠栗町森林環境譲与税基金条例の制定について

(議案第84号)

国から交付される森林環境譲与税について、森林の整備及び施策の財源に充てるため、篠栗町森林環境譲与税基金を設置する。

この条例は、公布の日から施行される。

基金に繰り替え運用規定を追加

篠栗町公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第86号)

歳計現金の一時的な不足に対応するための繰り替え運用規定が、この基金条例だけに無く、他の基金条例との整合を図るため条例を改正するもの。

すべての基金は一括して管理されており、運用面での整合を図る目的がある。

この条例は、公布の日から施行される。

国保・老健基金を廃止

篠栗町国民健康保険・篠栗町老人保健保険給付費支払準備基金条例を廃止する条例の制定について

(議案第88号)

国民健康保険が県単位化され、本町の国保事業の財政運営が安定したことにより、基金の目的が果たされたため同基金を廃止するもの。

この条例は、令和2年4月1日から施行される。

その他

移動式トイレを導入

財産の取得について

(議案第89号)

災害時やイベント等で使用できる移動式トイレトレーラー「みんな元気になるトイレ」を導入するもの。

契約先 JPホームサプライ株式会社
契約金額 1618万7500円



トイレトレーラー (イメージ写真)

オアシス篠栗の管理

引き続き大成有楽不動産へ

指定管理者の指定

(議案第90号)

篠栗町総合保健福祉センター(オアシス篠栗)の指定管理期間が終了することから、引き続き大成有楽不動産株式会社を指定するもの。

期間 令和2年4月1日から5年間

問 応募は、何社あったのか。

答 2社だったが、内1社は受付けのみで申請はなかった。

問 選定委員会、委員の選任方法は。

答 担当課が有識者を選考し、町長が承認する。

請願

本定例会では3件の請願が提出された。

文教厚生委員会では審査、本会議で採択され、関係機関に意見書等を提出することに決定した。

【請願第1号】

看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を検討することを国に働きかける意見書の提出に関する請願

(提出者)

福岡県医療労働組合連合会

執行委員長 原 正勝氏

(紹介議員)

村瀬 敬太郎 議員

今長谷 武和 議員

(提出先)

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

(概要)

看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用対象とした看護師の特定最低賃金の新設。

【請願第2号】

介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を検討することを国に働きかける意見書の提出に関する請願

(提出者)

福岡県医療労働組合連合会

執行委員長 原 正勝氏

(紹介議員)

村瀬 敬太郎 議員

今長谷 武和 議員

(提出先)

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

(概要)

介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国を適用対象とした介護従事者の特定最低賃金の新設。

【請願第3号】

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を国及び県に働きかける意見書の提出に関する請願

(提出者)

福岡県医療労働組合連合会

執行委員長 原 正勝氏

(紹介議員)

村瀬 敬太郎 議員

今長谷 武和 議員

(提出先)

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、
文部科学大臣、総務大臣、福岡県知事

(概要)

- 医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替労働における労働環境の改善
- 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・医療技術職・介護職の増員
- 患者・利用者の負担軽減
- 費用削減を目的とした病床削減は行わず、地域医療に必要な病床機能の確保

一般会計補正予算（第3号）

補正額 2億 634万円 補正後予算総額 105億5591万円

主な補正については別表1・2のとおり。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満四捨五入)

| | |
|-------|--------|
| 国庫支出金 | 5456万円 |
| 県支出金 | 5323万円 |
| 寄附金 | 2300万円 |
| 普通交付税 | 6494万円 |

(表2) 歳出の主なもの

| | |
|------------------------------|----------|
| 総務費（企画費） | 810万円 |
| 民生費（障がい者福祉費・国県補助金返還金等） | 1億3360万円 |
| 農林水産業費（荒廃森林再生事業等） | 2207万円 |
| 教育費（支援学級用教室分割工事・公民分館整備費補助金等） | 2941万円 |
| その他（人事院勧告に伴う人件費等） | 554万円 |

- 繰越明許費について、プレミアム付商品券事業で700万円、債務負担行為について、公共施設個別施設計画策定業務委託、福祉総合計画策定支援業務委託（令和元年度～令和2年度まで）ほか3件を追加。地方債補正では公共事業等について起債の限度額を1800万円追加。地方道路等整備事業については廃止され、公共事業等債へ財源更正された。

国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

人事院勧告の給与改定に関する勧告に伴う人件費の増額補正のほか、県補助金等の額の確定による返還金の増額補正、財源更正等、また前年度繰上充用金の額確定により減額補正するもの。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

人事院勧告の給与改定に関する勧告に伴い人件費を増額補正するもの。

流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的収入及び支出 人事院勧告の給与改定に関する勧告に伴い人件費を増額補正するもの。

水道事業会計補正予算（第3号）

収益的収入及び支出 人事院勧告の給与改定に関する勧告に伴い人件費を減額補正するもの。
資本的収入及び支出 企業債償還金の補正。

議決結果一覧表

| | 議案番号 | 議案名 | 議決結果 |
|------------------------|---------|--|-------------------|
| 12 月 定 例 会 | 84 | 篠栗町森林環境譲与税基金条例の制定 | 全員賛成可決 |
| | 85 | 篠栗町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定 | 全員賛成可決 |
| | 86 | 篠栗町公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例の制定 | 賛成多数可決 (反対：荒牧) |
| | 87 | 篠栗町地域福祉計画策定委員会条例の一部を改正する条例の制定 | 全員賛成可決 |
| | 88 | 篠栗町国民健康保険・篠栗町老人保健保険給付費支払準備基金条例を廃止する条例の制定 | 全員賛成可決 |
| | 89 | 財産の取得 | 全員賛成可決 |
| | 90 | 指定管理者の指定 | 全員賛成可決 |
| | 91 | 農業用施設整備工事に伴う受益者負担金の免除 | 全員賛成同意 |
| | 92 | 農業用施設整備工事に伴う受益者負担金の免除 | 全員賛成同意 |
| | 93 | 令和元年度篠栗町一般会計補正予算（第3号） | 全員賛成可決 |
| | 94 | 令和元年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） | 全員賛成可決 |
| | 95 | 令和元年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） | 全員賛成可決 |
| | 96 | 令和元年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号） | 全員賛成可決 |
| | 97 | 令和元年度篠栗町水道事業会計補正予算（第3号） | 全員賛成可決 |
| | 請願1号 | 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を検討することを国に働きかける意見書の提出に関する請願 | みなし採択 |
| | 請願2号 | 介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を検討することを国に働きかける意見書の提出に関する請願 | みなし採択 |
| | 請願3号 | 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を国及び県に働きかける意見書の提出に関する請願 | みなし採択 |
| | 意見書案第1号 | 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書 | 全員賛成可決 |
| | 意見書案第2号 | 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書 | 全員賛成可決 |
| | 意見書案第3号 | 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書 | 全員賛成可決 |

委員会研修

総務建設・文教厚生常任委員会 合同視察研修

目的 人気観光スポットの沿革及び管理運営、イベントの企画、集客面の工夫、市民ボランティアの活躍などさまざまな視点から研修し、本町における地域資源の可能性を考察する。

日時 令和元年10月24日～25日

視察先 船橋市「ふなばしアンデルセン公園」

参加者 議長、総務建設常任委員会 6名、文教厚生常任委員会 4名

テーマパーク部門において、東京ディズニーランド・ディズニーシーに次いで国内第3位の人気を誇り、年間来場者約80万人を数えるアンデルセン公園は、国際交流やレクリエーションの場として、飽きさせない企画が満載だ。緑豊かな憩いの場として、幅広い年齢層に親しまれている。集客面では、公立の公園では珍しく「友の会」、年間パスポート券発売、季節割引導入など工夫が図られている。

案内しながら説明を受ける中で、細谷順子園長の熱意やリーダーシップを強く感じる。やはり、人材育成が大事だということを知り、今後の本町の施設の運営、観光産業の参考にしたい。



議会広報広聴委員会研修

日時 令和元年9月25日～26日
場所 シェーンバツハ・サボー（東京都）
研修先 全国町村議会広報研修会
参加者 議長、広報広聴委員会 6名

全国176町村議会の委員が集まり、豊田健一氏「読者目線で親切的な広報紙を作るには」、前田安正氏「情報をわかりやすく伝える」、吉村潔氏「広報クリニック」と題し、全国の議会広報を参考に講義が行われた。「人はなぜ読むのか、伝えるための文と文章はどうあるべきか」など具体的に示され多くを学んだ。住民目線の編集を心がけたい。



日時 令和元年11月19日
場所 福岡県自治会館（福岡市）
研修先 福岡県町村議会広報研修会
参加者 広報広聴委員会 6名

芳野政明氏（議会広報サポーター）から、「議会だよりが読まれ、伝わる」と題し、議会報の意義・目的や編集方針・企画構成、避けたい“NG見出し”や写真の活用など分かりやすい講義が行われた。本研修を参考に、読みたくなる紙面づくりに努めたい。



町村議会議員研修（新任議員対象）

日時 令和元年10月29日
場所 福岡県自治会館（福岡市）
研修先 町村議会議員研修会
参加者 品川・横山・藤木 議員

元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏による「地方議会の仕組みと権限」というテーマであった。議会とは何か、議員とは何かという根本的なところから話しがあった。

この研修を少しでも今後の議会活動にいかしていくよう励んでいきたい。



5人が一般質問

5人が一般質問

1. 古屋 宏治 議員…………… 11
 - 農振除外による広大な土地で将来に向けたまちづくりを
2. 藤木 高裕 議員…………… 12
 - 地球環境に配慮したゴミ袋を
 - 特養スタッフの引き抜き防止を
3. 荒牧 泰範 議員…………… 13
 - 現在の財政状況の説明を求める
4. 横山 和輝 議員…………… 14
 - 三和興業との包括連携協定、具体的に説明を
 - 町道整備作業員及び駐車場誘導員の働く環境の改善を
5. 田辺 弘之 議員…………… 15
 - 上水道施設の維持は

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

農振除外による広大な土地で 将来に向けたまちづくりを

町長「次の時代に発展の可能性も踏まえ農振地域の変更も視野に入れるべき」



古屋 宏治

今、農業人口の減少や高齢化、後継者不足など、農業を取り巻く環境の厳しさは、ますます大きな問題になっており、農家のためにも、将来の町のためにも早急な対応が必要である。

篠栗町も福岡都市圏として10年後、20年後を見据え、若い人たちが、どのような街で暮らしたいのか、また、どのような街に人が集まり、どのような街が人を呼び込めるのかを考える時期にきており、町を發展させていくには大きな面での大きな開発が必要であると思う。

北地区産業団地での企業誘致による自主財源の確保、雇用確保、定住促進といった開発をも

とに、次の企業誘致、財源づくり、雇用の場づくりを計画すべきと思う。

残す農地は、将来にわたりしっかりと守り、開発計画する農地は、計画が始まるまでしっかりと守り育てる。このことを踏まえ、農業振興地域除外について問う。

問 今後の農地、農業についてのアンケートは行ったか。

答【産業観光課長】 来年度中に行う予定である。

問 人・農地プランの策定は。

答【産業観光課長】 実質化が行われた地区はない。アンケート実施後に検討していく。

問 農地中間管理事業の利用者数と面積は。

答【産業観光課長】

| | | |
|----|-----|-------|
| 表作 | 貸し手 | 23名 |
| 裏作 | 借り手 | 2法人 |
| | 面積 | 9.3ha |
| | 貸し手 | 14名 |
| | 借り手 | 1法人 |
| | 面積 | 3.4ha |

問 農業振興地域制度において篠栗町に残さなければならぬ面積は決まっているのか。

答【産業観光課長】 福岡県で令和7年に7万1400haの目標となっている。

問 農振地域は今後、10年、20年後も残していくべきと思われるか。

答【産業観光課長】 農業への思いや考え方は時代とともに変化しており「残していくべき」という固定観念なく考えるべき。

問 今後の農地対策、町の発展のためマスタープラン中間年次（令和4年）に一部、農振地域の変更が出来ないか。

答【町長】 令和4年は、北地区産業団地における各企業の操業開始とともに大きな変化が起こり始めている時期、その後のマスタープランのあり方について、じっくり検討を加える必要がある。次の時代の発展の可能性も踏まえ、農振地域の変更も視野に入れる時期である。

地球環境に配慮したゴミ袋を

都市整備課長「総合的に検討していきたい」



藤木 高裕

問 今年に入り、すでに2回西日本新聞に「ゴミ袋をバイオマスプラスチック化し、地球環境に優しいものに変更する自治体の記事が大きく取り上げられている。九州では唯一、北九州市が来年初からこの方法に切り替える。問題はコスト面だと思いが、環境問題に積極的に取り組むためにも、ゴミ袋のバイオマスプラスチック化を検討する必要があると思う。見解を求めます。



答【都市整備課長】北九州市では二酸化炭素削減のために、来年度から全ての指定「ゴミ袋を変更する。現在、本町の「ゴミ袋はRDF化を行い、発電所で燃料として焼却している。バイオマスプラスチックは、環境負荷軽減に貢献できるものと考えています。製造コストが上がること予想されるが、他の自治体の導入状況、地球環境に配慮するという観点を総合的に検討していく。

特養スタッフの引き抜き防止を

福祉課長「悪質な引き抜き行為は慎むよう申し伝える」

問 新設の特別養護老人ホームについて9月議会における町長の説明を聞き、古賀市及び糟屋郡の各自治体の特養施設には多くの待機者が存在し、そのため特養を設置することが急務ということであった。

勝手な推測ではあるが、建設予定地に町有地が多く含まれているのではないかと考えている。差し支えなければ計画されている場所を教えてください。

特養を新設する場合、スタッフを近隣の施設から引き抜くことが多いと聞く。既存の施設とトラブルを起こさぬよう自治体と新設事業者との間でスタッフの引き抜きを行わない協定を結ぶのはどうか。

答【福祉課長】計画地にはわずかに里道や水路が含まれるのみで民有地。明確な場所については、県との協議が整っていないので差し控える。

協定に関しては、憲法第22条第1項に職業選択の自由が定められている。よって協定を締結した場合でも、効力が及ぶ範囲は限定的であると思われる。

しかし、町としても既設事業者の運営が困難となる事態は防ぐべきと考えている。県との協議が整った後、当該事業者には既設事業者からのスタッフの悪質な引き抜き行為は慎むよう申し伝えるようにする。



荒牧 泰範

現在の財政状況の説明を求める

町長「おおむね良好な状態にある」

問……………

建設業界紙に、役場庁舎建て替えの記事が載っていた。駅自由通路で10億7千万円、北地区産業団地の投入額が不確定な中、寝耳に水の話である。

以前より、有事に対策本部となる役場庁舎が、震度6の地震で倒壊の恐れがある強度では話にならないので、早急に建て替えをするべきと提案してきた。しかし、その都度、予算が見込まないとの答弁であった。

新庁舎の必要性は、いまさら問うまでもないが、はたしてその予算が見込めるのか。現在の財政状況で、庁舎建設予算を捻出できるのかを尋ねる。

また、それ以前に現在のわが

町の財政状況は、今年度予算でも基金の繰入を財源とした編成がされており、基金を取り崩さなければ実質的な収支は大きく赤字になるのではと危惧している。

私が知るこの25年間で、ここ数年は黒字から赤字へ振れていると思う。もしそのような状況なら、最悪、夕張市と同じ状況になることも考えられるので正確に詳しく説明を求める。

答【町長】

基金残高は平成24年の34億8千万円から15億8千万円減額となっており、今後も高齢者・障がい者支援や次世代育成支援などの扶助費は増え続け、ここ数年は基金繰入による運営を強いられると考える。このため現時点では庁舎建設はできないと考える。

基金を財源とする状況にあることは、実質的な単年度収支が赤字で財政状況がよくないよう

に見えるが、将来に負担が少ない財政運営を行ってきたことから、健全化を判断する財政指標はおおむね良好な状態にあり、決して赤字再建団体に陥るような状況ではない。

これからの財政状況については財政課において「中期財政計画」を作成中であり、今年度中に公表する予定にしているが、長期的な収支計画で、年度ごとのフローを分析することにより長期的な設備投資計画の可否を検討し、実現可能な計画を盛り込むものである。準備ができたら議会に詳しく説明し、意見を賜りたい。



三和興業との包括連携協定、具体的に説明を

総務課長「今は基本的項目を決めた段階で、
具体的検討はこれから行う」



横山 和輝

問 10月8日の西日本新聞朝刊に、解体工事業者である株式会社三和興業と篠栗町が包括連携協定を結んだとの記事を見つけ、大変驚いた。
包括連携協定には大前提がある。それは双方の信頼関係が揺るぎないことである。町との関係はそのレベルには達していない。この状況下での包括協定締結は到底納得できない。わが町にどのような恩恵があるのか尋ねる。



答【総務課長】 三和興業とは5項目について締結している。10月の協定締結後、各項目についてどのような施策ができるかを検討中。

問 それは協定を締結する前に話し合うことではないのか。一緒に何を目指しているのか。1年間で成果が出るものなのか。

答【総務課長】 1年ですぐと言う形では考えていない。

町道整備作業員及び駐車場誘導員の働く環境の改善を

町長「シルバー人材センター、共立メンテナンスと協議し改善に努力したい」

問 現在、町道整備等の作業員6名全員が派遣職員となっている。以前は所属課に机とロッカーがあり、自分の机で食事が出来ていたが、派遣社員となつてからは担当課に彼らの居場所はなく、ロッカーも撤去され、昼食は車庫の片隅等で済ましている。

庁舎駐車場の誘導員については、以前あつた詰所が撤去されたという問題がある。
誘導員は全員高齢者であり雨、風、寒さを凌ぐ詰め所は必要と考える。誘導員の皆さんも幾度となく総務課に要望されたと聞かされたが実現していないのはなぜなのか。町民からも怒りの声が挙がっている。

答【総務課長】 作業班には業務の範囲にデスクワークがないことから机をなくしている。昼食休憩場所は消防団詰所2階を使用するよう取り決めている。
また、詰所は誘導員の休憩場所として設置されたものと思う。必要な場合は警備室を使用することで協議済みだ。

問 共立メンテナンスの部屋は狭い。町のために働く方が車庫の片隅で昼食をとるのは少し惨めでは。
誘導員に関し、篠栗町は高齢者に優しい町ではないのか。詰所を元に戻すだけでよいのだが。

答【町長】 町道等の作業員、そして駐車場の誘導係についてはしっかりとシルバー人材センター、共立メンテナンスと協議を行い労働条件改善に努力したい。

上水道施設の維持は

上下水道課長「建て替えを検討している」



田辺 弘之

問……………

本年4月に篠栗町の上水道事業の安定化を図るために水道料金の改定が行われたが、篠栗第1浄水場が50年、第2も45年がたち、設備の劣化等が懸念される。

全国的にも水道管などの設備の老朽化が進み、更新費用がかさみ、各地で水道料金の引き上げが相次いでいる。水道業者(ほとんどが自治体)の3分の1は赤字の状態で、老朽化した設備の更新が思うように進まず、各地で漏水や破損事故が増え、昨年12月、水道事業の経営基盤を強化することを目指した水道法が改正された。

これらを踏まえて、次の質問を行う。

① 浄水場の施設を維持するためにはどのような検討がなされているか。

② 浄水場の耐震対策は。

③ 施設台帳の作成・管理はなされているか。

④ 水道管の状態の掌握は。

⑤ 将来的に民間業者に運営を委託することはありえるか。

答【上下水道課長】

① 平成30年度「篠栗町新水道ビジョン」を策定し、今年度水道料金を改正。来年度以降「水道事業経営戦略」を策定し、予定で進めており、浄水場は耐震調査及び耐震化工事に多額の費用が発生することが考えられるので施設の建て替えを検討。

② 旧建築基準法での建築物であり、耐震化はなっていない。

③ 調査及び図面として整備すべき情報であり、管路調査及び管路以外の調査、図面は全体像を把握するための配置図及び施設平面図で、紙ベース及び

び電子媒体で作成し、役場及び浄水場で保管。

④ 篠栗町統合型GISを活用し、新設・更新についての情報を更新。

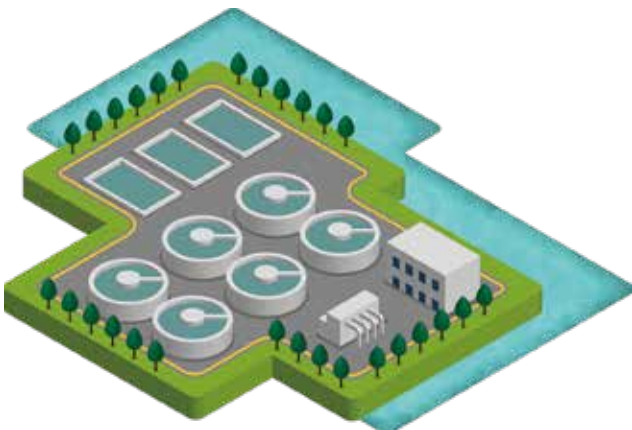
⑤ 民営化による水道料金の高騰、水の安全の確保、災害時の対応、海外での再公営化などの懸念もあり、導入の検討はないが、県・福岡都市圏・福岡地区水道企業団の一員として、広域連携の検討を行っている。

問……………

広域連携の検討とは。

答【上下水道課長】

水道事業の経営基盤安定化のため、福岡都市圏総合水対策研究会において、各事業者のアセットマネジメントや配水池や浄水場の標高を示した水位関係図に基づき施設統合といった隣接町との連携検証に取り組んでいる。



輝く まちの宝

北勢門小学校 餅つき大会

11 / 30



子どもたちも
元気に杵を振っています。
つくたてのお餅を、
きな粉、しょうゆで食べ、
わいわいきゃーきゃー
楽しい一日でした。



旬花衆灯

冬虫夏草（トウチユウカソウ）

これはコウモリ蛾の幼虫に菌糸を付着させ、幼虫の養分を吸い取り成長する奇妙なキノコ。

昔、中国の皇帝だけが愛用出来た漢方薬として有名で、ヒマラヤ山脈の麓で専ら採取される。しかし、乱獲が進み今では金より高価と言われている。

ところで、この貴重なキノコの人工培養に初めて成功したのが九州大学で、しかもこの研究は篠栗町の九大演習林内の施設で行われていたとのこと。篠栗と縁深いこの「冬虫夏草」これからは愛着をもって見守りたいものだ。

横山 和輝

3月議会は

3/2日 開会

3/4日 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 阿部 寛治 議会広報広聴委員会 委員長 栗須 信治 / 副委員長 品川 静
委員 村瀬 敬太郎・田辺 弘之・横山 和輝・藤木 高裕

令和2年2月1日発行

発行 / 篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号 TEL092-947-1390 FAX092-947-1442 印刷 / 株式会社三光